



いのち輝かせ、 未来を拓こうとする生徒の育成

～自分を見つめ、共に生きる力を育む人権教育を通して～

長井市立長井北中学校

平成20年度から平成22年度まで「キャリア教育」を重点に教育活動を進めてきました。これを基盤に平成23年度より、「人権教育」の側面から「いのち輝かせ、未来を拓こうとする生徒の育成」をめざしています。

キーワード

「自尊感情」「自己有用感」
「自己決定」「コミュニケーション」

人権感覚の育成のためには、自尊感情を培うとともに、共感能力や想像力、人間関係調整力を育むことが求められています。

そこで、上の4つをキーワードとし、自分のよさや個性を理解・発揮し、他の人とよりよく関わりながら、いのちを輝かせ、よき社会人として自らの手で未来を切り拓こうとする力を育成していきたいと考えています。

「キャリア教育」では、特に「自尊感情の育成」を大切にしてきました。現在は「自己決定」「コミュニケーション」の場の設定を重点にして、研究を進めています。

(図1 図2)

図1

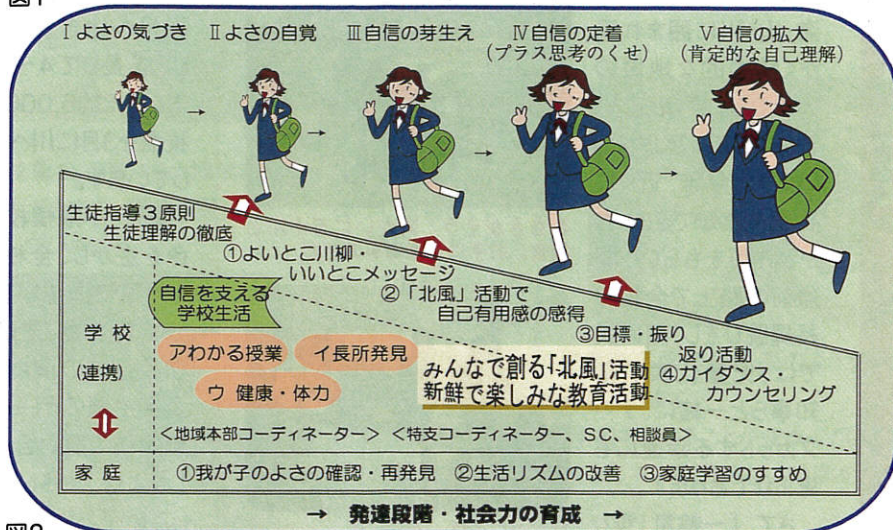
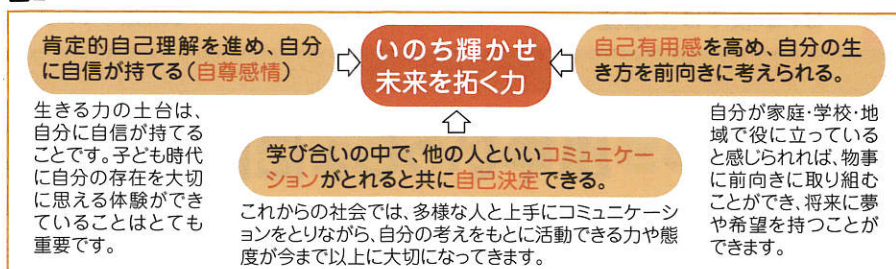


図2



4つの推進部 特別活動研究部、教科・道徳研究部、まちなか科研究部、調査・連携研究部

自尊感情・自己有用感を育てる

特別活動研究部



「Happy Letter」仲間のよいところを手紙形式にして相手に渡す。

学校行事への取り組みカード「My Legend」自己目標を設定し毎日振り返る。

自己決定力、コミュニケーション力を付ける

まちなか科研究部



まちなかプロジェクトin梅屋敷商店街：自作パネルを用いて長井の特産品を紹介・販売し、街の方々と交流する。

総合学習「長井を知る」の第一歩として、長井の老舗で食事をしたりインタビューしたりする。

自己決定力、コミュニケーション力を付ける

教科・道徳研究部



コミュニケーションの場として、ワークショップ形式で長井北中の生徒会や行事について話し合う。

自己決定の学びの場として「友人関係スキルアップ」を行う。

コミュニケーション力を付ける

調査・連携研究部



出身小学校に出向き、「朝のあいさつ運動」を行い、小学生と交流する。